2023年度 みんな違っていい! みんな違って当たり前! みんなで感じてみよう! ~心を震わせろ編 PART2~



◆日 時◆ 2023 年 9 月 3 0 日(土) 13:30~16:30

(受付13:00~)

◆心を震わせるトークセッション◆

障がいがあっても無くても、だれもが一人ひとり、地域にとって大切な存在です。 昨年 12 月のトークセッションで障がい当事者のリアルな暮らし・気持ち・想いを聴き、 その中に私たちそのものを豊かにしてくれるヒントがたくさんありました。 あれから一年・・・。

再び登壇者のみなさんの話を聞き、心を震わせてみませんか?

▶登壇者◆

清水 明彦氏(西宮市社会福祉協議会 副理事長)

貞末 麻哉子氏 (映画作家 / 最新作『普通に死ぬ~いのちの自立~』)

しょうかわ ゆうと

正川 雄斗氏 (西区在住 障がい当事者) 🔍

やまもと

山木 総来氏(西区在住障がい当事者)

小菅 敏朗氏 (ことばの介助者)

◆会 場◆

生活創造空間にし

〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40 電車をご利用の方:西横浜駅改札口から徒歩4分

- ◆参加費◆ 無 料
- ◆申込み◆ 電話申込の場合 ⇒ 地域活動ホーム ガッツ・びーと西 045-250-6506 (担当:阿部・古田中)

オンライン申込の場合 ⇒ 二次元コードでの申込は こちら ⇒



「どうしたら誰もが暮らしやすい地域、 西区を創る事ができるか」 皆さんと一緒に具体的に考え、皆さんと実行し、皆さんと作っていきたい。 これがチームにしまるの想いです。

「映画上映したいんだけど、研修企画してほしい!」 という声があれば、飛んでいきまーす!

【チームにしまる参加団体】

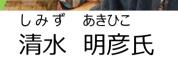
チームにしまるの想い

西区地域住民・西区生活支援ネットワーク・西区地域自立支援協議会・西区社会を明るくする運動推進大会 等

登壇者プロフィール

西宮市社会福祉協議会 副理事長

1974年より、西宮市内の重度障がい者の家庭訪問活動に参加。西宮市の重症 心身障がい者の集まり「未就学在宅者のつどい」の発足。1978年より、障がいが重く 社会参加の場を見出せない学校教育終了者の社会教育の場「生活教室」の職員に。 1981年、これらが統合される中で、西宮市独自の重度障がい者の地域 活動拠点「青葉園」が西宮市社会福祉協議会の運営により成立。成立と同時に、 西宮市社会福祉協議会職員として同園スタッフに。1991年より2001年まで、 「青葉園」園長。その後、「青葉園」と「障がい者生活相談・支援センター」の運営を 担当する障がい者生活支援グループ長。2013年より、西宮市社会福祉協議会 事務局長兼障がい者相談体制整備室室長。2015年より、常務理事。



西区在住 障がい当事者

1997 年生まれの 26 歳。生後 1 ヶ月にかかった病気の後遺症により

重症心身障がいと共に生きる人生が始まった。

現在、週5日通っている2か所の通所先では、やり甲斐のある仕事やレクリエーション、お出かけと充実した毎日を過ごしている。

今の彼の夢は大好きなこの地域で僕らしく"暮らす"環境を作ること。



しょうかわ ゆうと正川 雄斗氏

ことばの介助者

こすげ としろう 小菅 敏朗氏



生活介護事業所&COCO(あんどここ)所長

「楽しいことも、悔しいことも、時には悲しくなることもあるかもしれないけれども、色々な事を経験して皆で作りあげる場所にしたい」。そんな想いを持って活動しています。

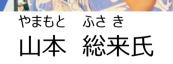
西区在住 障がい当事者

1996 年生まれの 27 歳。

西区での生活は13年目。

肢体不自由と知的障がい、医療的ケアがある脳性麻痺。

家族と同居しつつ、支援の層を広げながら、視線入力による音楽演奏や グラフィックでの表現で新たな自己表出の方法を模索しているところ。



「マザーバード」代表 / 映画作家

『普通に死ぬ~いのちの自立~』(2020年)が

「普通に死ぬ〜いのちの自立〜」2020 年発表・全国で上映中。 (第 25 回あいち国際女性映画祭 2020 招待作品) 2001 年に「マザーバード」(杉並区)を起ち上げて『晴れた日ばかりじゃないけれど』 (2005 年)、『普通に生きる〜自立をめざして〜』(2011 年)、『ぼくは写真で 世界とつながる〜米田祐二 22 歳〜』(2014 年)と制作・全国上映に奔走し、

監督・プロデュース最新作となる。2020年9月コロナ禍であったが、「あいち国際女性映画祭」での招待上映を皮切りに、全国での劇場公開ならびに自主上映会を中心に10年を目標に上映活動を始めた。

さだすえ まゃこ 貞末 麻哉子氏